

平成 25 年 6 月 26 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

千葉県浦安市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結します

小千谷市は、「安心安全のまちづくり」の更なる推進のため、7月11日に浦安市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結します。

この協定は、災害対策基本法に基づき、小千谷市と相手先自治体のいずれかの地域に大規模な災害が発生した場合に、被災市の要請による災害応急対策及び災害復旧を円滑に遂行するため、相互の応援体制について協定を締結するものです。

東日本大震災の教訓から、同時に被災する可能性の低い地域との相互応援協定は重要と捉え、県境を越えた広域的支援が期待できると考えている双方の市において、協定書を取り交わすことになりました。

杉並区、南相馬市、日立市に続き、今回で4自治体目の協定締結となります。

■協定締結式

- ◆予定日時 7月11日(木) 午後2時30分
- ◆会場 小千谷市役所 4階 中会議室
- ◆経緯 新潟県中越大震災時の人的支援、「中越大震災ネットワークおぢや」への加入と活動、東日本大震災時の当市の支援活動及び今後の広域的支援活動への期待など。

■応援の種類

- ◆食料、飲料水及び生活必需物資並びにその供給に必要な資機材の提供
- ◆被災者の救出、医療、防疫、施設等の応急復旧等に必要な資機材及び物資の提供
- ◆応急復旧活動の人員の派遣及び車両等の提供
- ◆被災者を受け入れるための施設の提供
- ◆その他前記に掲げるもののほか、特に要請のあった事項

本件に対するお問い合わせ先／小千谷市危機管理課 担当／草野

TEL：0258-83-3515 FAX：0258-83-2789 E-mail:bousai@city.ojiya.niigata.jp

平成 25 年 6 月 26 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

平成 25 年 6 月 25 日から
「小千谷市緊急情報メール配信サービス」を始めました

小千谷市では、災害時の避難情報や市民の皆さんを災害等から守るための緊急情報を電子メールで配信するサービスを始めました。

このメール配信サービスは平成 24 年度に緊急情報を市民の皆さんに伝達することを目的として全世帯と事業所に配置した、「緊急告知ラジオ」を補完する情報伝達手段の一つとして導入したものです。

■配信する緊急情報

◆市が状況に応じて配信する情報

避難情報（避難準備情報、避難勧告、避難指示）、災害発生情報、クマ出没情報、光化学スモッグ・PM2.5 情報など

◆全国瞬時警報システム（ジェイアラート）からの情報

緊急地震速報、震度速報、津波情報、国民保護情報、気象警報・気象情報（一定の基準を超え、中越地方または小千谷市に直接関係する場合）

※上記緊急情報のほか、不定期でテストメールを送信する場合があります

■特徴

- ◆配信する情報を市民の生命・身体に影響を及ぼすような緊急情報に限定
- ◆携帯電話などでは、外出先でも情報を受けられる
- ◆市が直接情報発信するため、早く確実に緊急情報が得られる
- ◆利用者の負担が少ない（メールの送受信に伴うパケット通信料のみ）

■利用方法

- ◆指定のメールアドレスに空メールを送って登録する
- ◆詳細は、小千谷市ホームページ及び 6 月 25 日発行の市報おぢやに掲載

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市危機管理課危機管理係 担当／渡辺・田邊
TEL:0258-83-3515 FAX:0258-83-2789 E-mail:bousai@city.ojiya.niigata.jp

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

新潟県中越大震災 10 周年に向けて復興計画の検証を行います

平成 16 年 10 月 23 日に発生した新潟県中越大震災から、来年で 10 周年を迎えます。小千谷市では平成 17 年度に 26 年度までの 10 年間の復興計画を策定し、短期及び中期検証を行いながら事業を進めてきました。

この度、10 周年に向けて復興計画の進捗状況を総括し、これまでの復興への歩みをまとめるとともに、それを今後の小千谷市のまちづくりに活かすために長期検証を行います。

そのための組織として小千谷市復興推進委員会を設置し、下記のとおり第 1 回委員会を開催します。

◆ 第 1 回復興推進委員会 ◆**■ 期日**

7 月 1 日（月）午後 2 時～

■ 会場

小千谷市役所 4 階大会議室

■ 内容

正副委員長の選出、過去の検証結果の確認、今後の検証スケジュール確認等

■ 委員

裏面名簿のとおり

本件に関するお問い合わせ先

小千谷市企画政策課まちづくり推進室 担当／増川・近藤

TEL : 0258-83-3507 FAX:0258-83-2789 E-mail : plan-ms@city.ojiya.niigata.jp

小千谷市復興推進委員会委員名簿

※ 任期： H25. 7. 1 ～ H26. 11. 30

区 分		氏 名	備 考
1号委員	学 識 経 験 者 (3名)	田 中 聡	常葉大学 社会環境学部 教授
		田 村 圭 子	新潟大学 災害復興科学センター 教授
		牧 紀 男	京都大学 防災研究所 准教授
2号委員	地区協議会等の代表 (6名)	西 脇 英 郎	西小千谷地区代表 西小千谷地区町内会長協議会長
		勝 又 幸 博	東小千谷地区代表 東小千谷地区町内会長協議会長
		風 卷 正 長	吉谷地区代表 吉谷地区町内会協議会長
		早 川 輝 己	東山地区代表 東山地区振興協議会長
		瀧 澤 功	南部地区代表 真人地区町内会長協議会長
		鈴 木 俊 郎	十二平を守る会会長
3号委員	復興支援員代表 (1名)	小 川 晃	復興支援室
4号委員	福祉、医療、保健関係者 (1名)	阿 部 尚 子	小千谷市健康センター 上席副参事
5号委員	産業・経済関係団体の 代表 (2名)	木 村 茂 穂	小千谷商工会議所 専務理事
		小 林 幸 夫	越後おぢや農協 常務理事

平成 25 年 6 月 26 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

地域密着型サービス事業者の公募結果について**地域密着型サービス事業者を選定しました**

第 5 期小千谷市介護保険事業計画（H24～H26）に基づき、平成 25 年度整備分として地域密着型介護老人福祉施設（小規模特別養護老人ホーム）の整備について公募を実施し、応募内容を審査した結果、次の事業者を選定しました。

■ <u>選定事業者</u>	社会福祉法人平成福祉会 理事長 今井和彦 所在地 長岡市平 1 丁目 3 番 60 号
■ <u>事業名</u>	地域密着型介護老人福祉施設 (小規模特別養護老人ホーム (ユニット型) 長期入所 29 名)
■ <u>設置の場所</u>	小千谷市大字桜町地内 (裏面地図参照)
■ <u>サービス提供開始予定</u>	平成 26 年 4 月 1 日
■ <u>計画の概要</u>	敷地面積 約 1,900 m ² 建物の構造 RC 造 2 階建 建築面積 約 800 m ² 延床面積約 1,450 m ² 総事業費 約 368,000 千円 着工予定 平成 25 年 7 月 1 日 竣工予定 平成 25 年 12 月 31 日

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市保健福祉課高齢福祉係 担当／佐藤・岸本
TEL : 0258-83-4060 FAX:0258-83-4160 E-mail : hoken@city.ojiya.niigata.jp

平成 25 年 6 月 26 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**非核平和推進研修
広島平和記念式典に中学生を派遣します**

小千谷市では、市内の各中学校の代表生徒を 8 月 6 日（火）に行われる広島平和記念式典に派遣します。

この研修は非核平和都市宣言をした平成 4 年から続けており、平成 24 年度までに 125 名の生徒を派遣しました。

併せて平和を願う折り鶴を募集し、派遣する生徒が平和記念公園に届ける予定です。また派遣に先立ち、原爆記録パネル展を開催します。

■非核平和推進研修

- ◆日程 8 月 4 日（日）～6 日（火）
- ◆参加者 市内の各中学校の代表生徒 5 名
引率教諭 1 名
随行職員 1 名
- ◆概要 今年も平和学習の一環として広島平和記念式典に中学生を派遣します。各校で代表生徒たちが実際に体験してきたことなどを発表する報告会を計画しており、参加できなかった他の生徒たちにもしっかりと伝えることで、平和学習としての効果を期待しています。

■平和を願う折り鶴募集

- ◆受付期間 7 月 1 日（月）～22 日（月）
- ◆受付窓口 企画政策課企画経営係（市役所 3 階）
- ◆概要 広島平和記念公園に捧げる平和を願う折り鶴を募集します。お預かりした折り鶴は広島平和記念式典（8 月 6 日（火）・広島市）に参加する中学生が捧げてきます。

■原爆記録パネル展

- ◆日程 8 月 1 日（木）～15 日（木） ※水曜日は休館日です。
- ◆会場 市民学習センター「楽集館」
- ◆概要 非核平和の大切さをより多くの方から理解していただくため、原爆に関する写真などを展示します。

裏へ続く→

■被爆体験記朗読会

- ◆日程 9月11日（水） 午後～小千谷中学校
 9月12日（木） 午前～片貝中学校 午後～南中学校
- ◆概要 被爆者やその家族が記した被爆体験記には、被爆のことを直接知る者のみ
 が書きうる真実や心情が記されています。朗読会では、原爆被害の概
 要を映像で紹介した後、国立原爆死没者追悼平和祈念館の被爆体験記朗
 読ボランティアによる被爆体験記・原爆詩の朗読を行い、最後に参加者
 自らが原爆詩を朗読し、被爆者の記憶や思いを共有します。
 一般の方も参加できますのでぜひご来場ください。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課企画経営係 担当／勝野・大矢
TEL : 0258-83-3507 FAX:0258-83-2789 E-mail : plan@city.ojiya.niigata.jp

平成 25 年 6 月 26 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

市庁舎の耐震化工事を実施します

市庁舎は昭和 44 年に完成し、建築後 43 年を経過しており、耐震診断の結果、地震に対する対策が必要と判定されました。災害時には災害対策本部が設置され、防災拠点施設となることから、建物の安全性と防災拠点機能を向上させるため、市庁舎の耐震化工事を実施します。

■工事の概要

- ◆免震工事（既存の建物の基礎に免震装置を組み込み、耐震性を向上）
- ◆防災拠点機能強化工事（非常用発電機・オイルタンク増設、防災便所設置）
- ◆防火・消防設備改修工事（防火戸改修、火災報知器更新、消火栓取替）
- ◆リニューアル工事（照明器具 LED 化、床改修、給排水ガス管更新）
- ◆屋上防水改修工事
- ◆前庭撤去・駐車場整備工事

※耐震化工事を免震工法で行うことにより、主な工事部分が建物の最下層に限定されるため、工事期間中も市役所の窓口業務を通常どおり行うことができます。

■工事金額・請負業者

◆市庁舎耐震化（建築主体）工事	963,900,000 円	鹿島建設(株)
◆市庁舎耐震化（電気設備）工事	86,478,000 円	(株)高橋電気
◆市庁舎耐震化（衛生設備）工事	36,729,000 円	(株)日乃出江口
◆市庁舎耐震化（外構整備）工事	28,140,000 円	渡辺建設(株)
◆市庁舎耐震化（削井）工事	13,545,000 円	(有)阿部ボーリング
◆市庁舎耐震化（駐車場消雪パイプ布設）工事	11,655,000 円	(株)日乃出江口

■工事期間

平成 25 年 6 月～平成 26 年 11 月

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市総務課庶務管財係 担当／井口・堀澤
TEL : 0258-83-3506 FAX:0258-83-2789 E-mail : soumu@city.ojiya.niigata.jp